

2007年度（平成19年度）
特定非営利活動法人 宝塚NPOセンター 事業報告書



特定非営利活動法人 宝塚NPOセンター

兵庫県宝塚市栄町2-1-1 ソリオ1-3F

TEL 0797-85-7766

FAX 0797-85-7799

E-mail zukanpo@hnpo.net

URL <http://www.hnpo.comsapo.net/zukanpo/>

宝塚NPOセンターは、平成10年4月に多くの人に祝福されながらソリオホールで設立総会を行いました。あれから10年、同じソリオホールで今回も360人という多くの人に集まっていただき設立10周年記念コンサートを開催できました。皆さまのおかげです。感謝で胸がいっぱいになりました。本当にありがとうございました。特に会員となりセンターを支えてくださった皆様、ボランティアとして事業に関わってくださった皆様、スタッフとして仕事を懸命にこなしてくださった方々、そして委託事業をくださった行政の度量の広さにも、心からお礼申し上げます。

当センターは、震災を教訓に市民や市民団体ができることは自分たちで担おうと立ちあがった市民のための団体でした。そして公益的で公共のサービスを事業として行うことができるNPO法人やコミュニティ・ビジネスを支援するセンターとして運営してきました。自分たちでまちづくりを行うという初めての取り組みは10年で大きな成果をあげました。ボランティア団体や障害者団体がNPO法人格を取得し、指定管理事業者になったり、委託事業を受けたり、介護保険や支援費事業者としてサービスを提供するようにもなりました。そしてその法人で雇用されたり、社会起業家として社会を変革していく人たちが増えていきました。市民社会が劇的に変化した10年でした。センターはそんな市民社会の変化の一翼を担ってきました。

これからも10年を基盤に企業や大学、宝塚市、兵庫県、国と連携しながら、NPOやコミュニティ・ビジネス、中間支援組織の支援事業を行います。

2007年度 NPO法人設立・CB起業支援の成果

宝塚NPOセンター理事兼生きがいしごとサポートセンター長 吹曾 幸雄

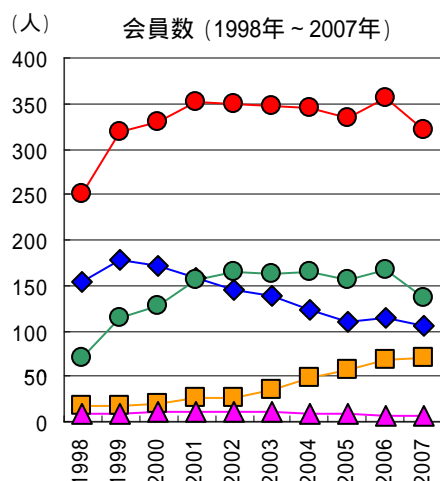
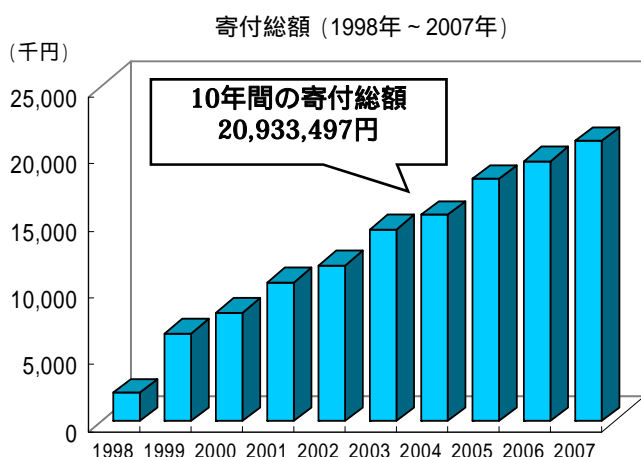
生きがいしごとサポートセンター阪神北では、NPO法人の設立認証申請書類の作成から、設立総会の議事運営、設立登記申請書類の作成、法人設立後の設立登記完了届から、資産総額の変更登記、役員変更、定款変更登記、事業報告書等の諸届けまで、親切、丁寧に相談者のペースに合わせて、相談者と一緒に考え、解決する姿勢で日々取り組んでいます。2007年度は、前年度に引き続き、特定非営利活動法人・CBの助成金や起業相談、運営相談等が増加しました。

2007年度中にNPO法人設立・起業した団体は28、設立認証申請書が受理され4月～6月に成立する法人は5、申請書類作成中の団体は4となっています。（3月31日現在）

次に、2007年度中の相談内訳は、これまでの法人設立件数等の増加に伴って、法人設立申請172件、運営相談459件、起業（助成金）相談106件、登記申請70件、役員変更26件、定款変更31件、事業報告28件、登記後届23件、合計915件で、対前年度比（3月31日対比）で172件（23.1%）の増加となりました。

なお、法人設立申請で51件の減、定款変更で5件の減、役員変更で25件の減となったものの、事業報告で5件の増、登記後届で13件の増、運営相談で208件の増、起業相談で23件の増、登記申請で4件の増となり、差し引き、172件の増加となりました。

寄付・会員数の推移



NPO法人や市民活動団体は設立時の4倍です

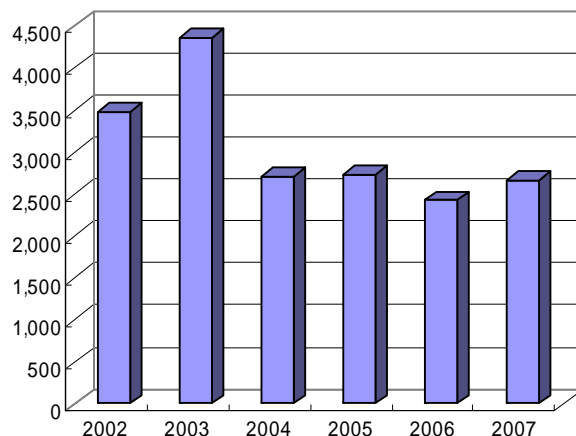
(1) 寄付

2008年3月末で10年間の寄付金総額は20,933,497円となりました。また2007年度は「みんなで歌おうコンサート10周年記念」で寄付をお願いしたところ、53件（7団体、46個人）から207,000円頂きコンサートの運営資金に充当させていただきました。寄付はセンターとしての貴重な財源となっています。

(2) 会員

設立当初の会員は250名でスタートしましたが、2008年3月末には320名に増加。内訳は正会員個人は1/3になりましたが、準会員は2倍に、団体会員（NPO法人等）は4倍に増加。継続率も100%で当センターがサポートしていることが理由です。また法人会員はほぼ横這いとなっており、企業からの支援が今後の課題です。

ボランティア時間 2002～07年



(1) ボランティア

記録をとり始めた02年以来、ボランティアの仕事量は年間スタッフ約1人分に相当します。また当センターのみならず市内NPO法人へのサポートや高齢者施設でのコーラス指導などの活動をしています。毎月ボランティアへの感謝とお礼を兼ねて誕生会を開催しています。



(2) インターンシップ

2007年度地域活動体験研修として行政から3名、4大学12名、県立高校1名と16名の参加がありました。

(3) 講演

講演の依頼先が変わってきています。継続的に依頼されていたコミュニティ・ビジネスの起業から協働や起業家精神論、中間支援組織の運営、その他様々なテーマになっています。計38件。

(4) 視察

中間支援組織のあり方を知りたいという依頼が4件、経済産業省からコミュニティ・ビジネス起業支援についてのヒヤリングもありました。計7件。

(5) ソリオ宝塚ふれあい夏祭り(8月23日)

第3回目となる今年は、連合婦人会の盆踊り指導、蔵人支部青年団の太鼓による音頭、ソリオ宝塚のエリアを越えた地域の子どもの会の参加があり、また、子ども達の絵画展も併催しました。一時激しい雨に見舞われましたが古家氏によるテナーサックス演奏もあり、夜店の出店も多く、盛り上がりが見切れることなく実施されました。

地域を元気づけていこうという気運が更に高まり、この行事を継続的に開催しようという期待が寄せられました。地元の実行委員会に入り、事務局を担当。



阪神NPO連絡協議会

阪神間のNPOのネットワーク組織として2000年4月に発足した阪神NPO連絡協議会の事務局を2003年度から宝塚NPOCが担当しています。月例会は79回を迎え、研修や情報交換、NPOの啓発活動などに取り組んでいます。今年度はIIHOE(人と組織と地球のための国際研究所)と共催にて、NPO中間支援センターを対象に6/10～11宿泊研修を開催。冬には日本NPOセンター開催の「NPOメッセin関西」の「中間支援センター弾丸バスツアー」と共に、阪神間を越えた広域のネットワークも結ばれました(参加者合計61人)。また10/27～28には恒例となった「リーダーのための宿泊研修会」を開催し、阪神間NPOスタッフのスキルアップにつながりました。

通年事業としては、全国の「主要都市の行政とNPOの協働環境調査」に協力。兵庫県を中心に6都市を調査し、「協働を考えるワークショップ(2回)」、まとめとして「報告会」を開催。NPOをはじめ、行政の担当部署からも多くの参加(のべ124人)をいただきました。このようなネットワークによる蓄積された情報を活用することで阪神間のCB・NPOに対し効果的なサポートサービスを提供しています。



近畿ろうきんNPOパートナーシップ制度

退職された方や豊かな経験をお持ちの方を、地域でがんばるNPO活動に役立てていただくことで生きがい作りや地域への貢献をめざしているこの制度は、今年で8年目となりました。阪神間の担当支援機関として7/26セミナーを開催し、ボランティアを希望する人とボランティアを求めているNPO法人との「出会いの場」を提供。今年度は9団体、24人のコーディネート(昨年度比2団体、8人増)ができました。

参加者の声

私にとっては自分に何が出来るか判らなくても、とにかくボランティアセミナーに出かけることがボランティア活動の第一歩でした。

始めは不安でしたが、あまり先入観を持たずに参加したことで、たくさんの人との係わりの中で得るものが確実にありました。



(1) 宝塚市内のNPO法人

2007年度末時点で58法人が活動しており、2007年度には7法人が設立され内5法人は当センターでサポートしました。また分野的にはシニア・団塊世代が主体の環境系（里地里山 ガーデニング）や福祉系の小規模作業所が増加の傾向です。

(2) 運営相談

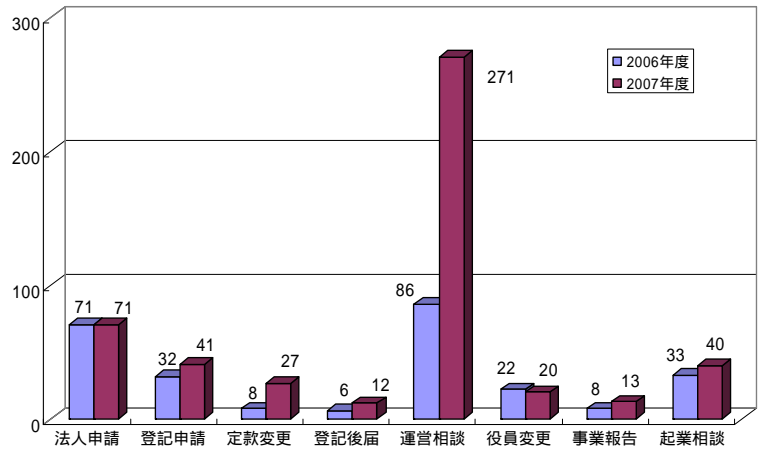
法人・登記申請、定款変更、運営相談など昨年の2倍の495回の相談受けました。近年法人申請が一段落した感がある一方で、運営相談が7割を占め内容も多岐に渡り、経営や税務など事業の軌道に乗ったNPO法人からステップアップのために相談が増加しています。

(3) 市民活動団体、宝塚まちづくり協議会などCB起業・経営支援業務

CBに関する起業・経営相談は94件（80団体、14個人）から相談があり最近の傾向として「ボランティアではなく、事業として継続的に運営が出来るように」という意識変化が見られ、支援経験の蓄積を生かした当センターのサポートがますます必要になっています。また、ゆずり葉コミュニティからは2007年6月に超高齢化が進む逆瀬台で介護福祉をサポートする「NPO法人きらり」が誕生、同様に高齢化が進む山本山手台でも移送サービスの相談があり、モデルケースとして2つのNPO法人の視察に同行しました。今後もこの様な傾向がみられそうです。



相談内訳



(4) まちづくり等の情報発信支援

宝塚まちづくり協議会20団体及び関連事業・団体、宝塚NPOC等で構成される宝塚まちづくり情報ポータルサイトを「関西ええこと.mot」上に開設。

宝塚まちづくり情報

検索

ブログ講座を開催し、イベント情報や定期広告物の広報支援をサポートしています。また市内NPO法人、任意団体をFM宝塚「話してみれば」で14団体を紹介、また頑張る個人・団体を紹介する「宝塚情報ステーション」や「宝塚NPOCニュースレター」を季刊発行しています。その他にもメールニュースの送信、宝塚市ボランティア活動センターのボランティア手帳へのNPO法人紹介欄作成協力をしました。



(5) 啓発講座・交流会

NPO・CB講座5回、NPO法人設立講座5回、NPO法人実務講座2回を開催し、50名の参加がありました。

交流会としては市内の任意団体、NPO法人、まちづくり協議会などの情報交換や宝塚NPOCのサービス紹介を目的に「宝塚市NPOネットワーク会議」を7月、11月に2回開催。30団体（行政、NPO、任意団体、まちづくり協議会等）・68名が参加しました。



(6) エコマネー支援

新たなエコマネーの仕組みづくりの検討として、経済産業省が換金できるエコマネーの特区設置を踏まえて先進事例視察ツアーを企画し、まちづくり協議会の皆さんを中心に17名が参加しました。

視察先：NPO法人友-友「いっぼ」(吹田市)

NPO法人寝屋川あいの会「げんき」(寝屋川市)



兵庫県「コミュニティ・ビジネス等生きがいごと支援事業」

生きがいごとサポートセンター(SC)阪神北事業は6年が終了しました。宝塚NPOCは、森・金森が2002年度開設から、吹曾・田淵が2003年度から継続して、生きがいごとSC阪神北事業を担当しており、経験、実績、蓄積されてきたノウハウ、各種ネットワークのもと、安定した成果をあげています(右図)。

(1) 2007年度成果の概要

これまでと同様、2007年度も充実した1年となりました。全体の相談数は2006年度とほぼ同じ水準となりますが、新規の起業相談は高い水準にありますし、リピーターの相談が増え、起業・経営相談案件(団体・個人)は約300件にまで増えました。依然としてコミュニティ・ビジネスやNPOの起業・経営相談に対するニーズは増加傾向にあり、起業から経営相談まで対応できるサポートセンターが必要とされているといえます。

主な成果は、雇用創出数246(仕様書216人)、起業団体数28(仕様書24人)、面接者数3,058(目標3,000)、新規起業相談者数407(目標300)、起業・経営相談団体数約300(目標100)、新規事業化(拡充)5事業(目標5)、新規求職者96(目標80)、啓発イベント・講座等参加者数790(目標300)です。すべての項目において、基準値・目標値を上回る成果をあげることができました。

(2) 講座・研修・啓発イベント等；参加790名

- 起業支援講座；起業家Café，宿泊研修
- 助成金講座
- CB・NPO入門講座
- 実務講習会；会計，PC活用
- 技能・資格取得セミナー
- 団塊・シニア世代本音deトーク



(3) 起業・経営個別相談の成果；NPO法人設立・運営相談を例に

2007年度にNPO法人設立又は起業した27団体の内、新規にNPO法人を立ち上げた団体は8団体。任意団体からNPO法人化した団体は12団体でした。

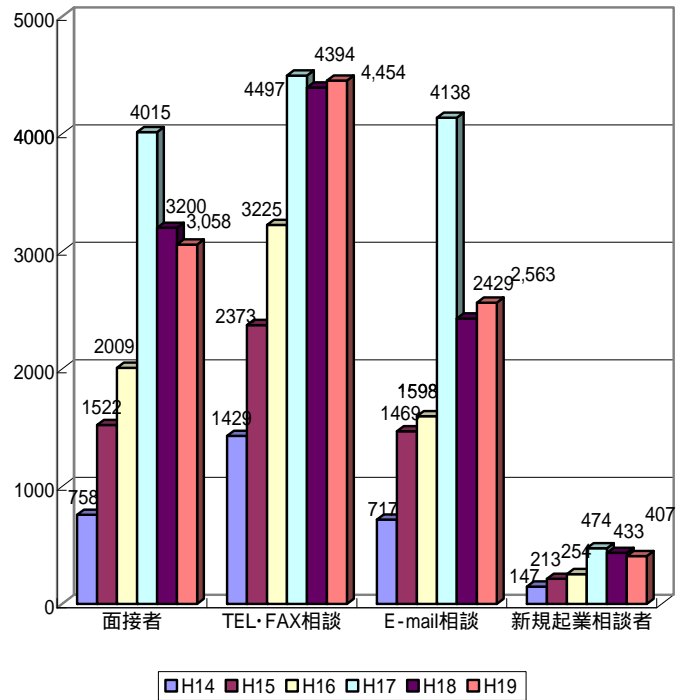
NPO法人設立支援を始めてからNPO法人設立件数が100件を超えました。様々な事例に対応してきたので、どのような相談が入っても大丈夫です。色々な人々と知り合うことができたことが財産です。毎日が楽しいです！

NPO法人設立認証申請について出張相談の要請があれば、団体の事務所まで出向きました。

- 豊岡市でサポート職の設立認証申請書の作成を支援
- 丹波市で友愛こぶしの設立認証申請書の作成を支援
- 丹波市で丹波里山くらぶの設立相談会を開催
- 宝塚市でアズイットの設立認証申請書の作成を支援

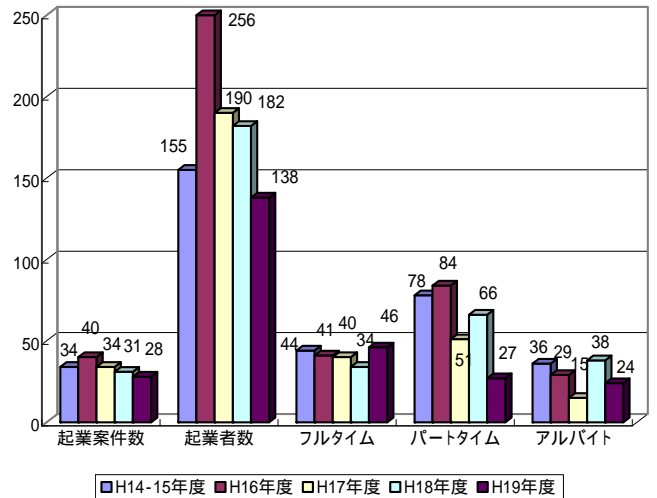


各種相談の状況 2002～07年



累計	面接者	14,562
	TEL・FAX相談	20,372
	E-mail相談	12,914
	新規起業相談者	1,928

起業支援と生きがいごと創出 2002～07年



累計	起業案件数	167	フルタイム	205
	起業者数	921	パートタイム	306
			アルバイト	142

起業団体紹介：NPO法人宝塚西谷里山クラブ（宝塚市）

元宝塚市議員井ノ上均氏から宝塚市で初めて、西谷地域の里地里山の環境保全等を目的とした特定非営利活動法人「宝塚西谷里山クラブ」設立の計画をお聞きして「宝塚市内に必要なNPO法人はこれだ」と感じました。

「宝塚西谷里山クラブ」は西谷の自然豊かな環境の保全と循環型社会づくりを進めるため、2006年11月から林道整備と放置林化しつつある山林の間伐を行い、2007年11月から炭焼き窯を作り、間伐材を木炭（菊炭）として利用し、あわせて木酢液の抽出を開始しました。さらに、地域の高齢者の生きがいづくりの場を提供し、西谷地域の活性化を図るため、遊休農地を活用した市民農園の整備・運営を行っており、その中で、木酢液使用の無農薬野菜の栽培を推進されているほか、「憩いのスペース」を提供するなど、既に、本格的な活動を展開されています。



雨の日も風の日も、「憩いのスペース」へ、「市民農園」へ、「炭焼き窯」へ西谷の豊かな自然環境をこよなく愛する人々が詰めかけ、連日の盛況が続いています。2008年3月21日、NPO法人宝塚西谷里山クラブの設立が認証され、宝塚市長阪上善秀氏の臨席のもと、法人設立祝賀会が盛大に開催されました。

この法人は、豊かな自然環境が残る西谷の里地里山を次世代に引き継ぐとともに、同地域の活性化を図るため、里地里山の環境保全事業、炭焼き窯の活用事業、遊休農地等を活用した市民農園の整備・運営事業等を行うことにより、すべての人が自然と共生することの大切さを考え、生き生きと暮らせる持続可能な循環型社会の実現を目指しています。

若者・子ども応援事業

若者・子ども応援事業は、2007年度から事業を一新しました。就労、就学、社会生活にリスクを抱える若者・子どもが、安心して暮らせる社会・地域・支援団体サポートを目的とし、ブログ・ガイドマップによる支援情報発信 支援機関（行政・NPO）の連携 NEETのための就労支援を柱に、兵庫県と宝塚市と協働で展開しています。

(1) 関西子ども・若者サポーターズネット

ひょうごボランティア基金「行政・NPO協働事業（NPO提案型）」に採択され、兵庫県政策局ビジョン課を協働パートナーとして11月から事業を開始しました。（3年事業：2007～2009年度）この事業の目的は、若者や子ども、その家族がいつでも誰でも頼ることのできる「情報のセーフティネットを築くこと」です。関西で暮らす就労、就学、社会生活に困難を抱える若者・子どもを中心に、Webツールを使った情報提供により、本人が適切な支援機関へスピーディに、継続的につながることを目指します。

また同時に、サポーターズである支援団体と行政、当事者、団体同士の連携を深めるための中間支援も行います。

2009年度には3つの事業を完成させるため、順次事業を進めます。

情報発信：ブログポータル「関西子ども・若者サポーターズネット」の構築・運営
情報発信：「関西子ども・若者のための応援ガイドブック（仮）」発刊・配布
イベント：行政・NPO合同 関西子ども・若者応援機関・団体説明会

子ども・若者応援事業 ポータルサイト画面

サイトの趣旨説明
アクセラランピング
フォトアルバム
ブログ内にある画像をUP
新着コメント
トラッキングバック
スポンサー
CSRパートナーのバナー

イベント情報
開催日が近い順にリストアップ
テーマで関心を引けば、新規参加者Getの可能性大

カレンダー機能
日をクリックするとイベント情報を表示

新着記事
新しく書き込まれた記事情報からUP
頻繁に書けばアクセス数もUP

自由枠(作成中)
ライフステージごと、課題ごとに、使える支援機関を紹介、リンクですぐに詳細情報が取り出せる！継続的支援を可能にするコンテンツ。

<http://www.hnpo.comsapo.net/portal/kwsn/portal.index>

2009年度ガイドブック・合同説明会 イメージ

見本

行政・民間ともに団体毎に相談ブースを設置

行政・民間の相談窓口に配置予定

関西子ども・若者サポーター

検索

11月から兵庫県を中心に支援機関を訪問し、サービスメニューをヒヤリングしました。（子ども家庭センター、発達障害者支援センター、精神保健福祉センター、若者サポートステーション、ジョブカフェひょうご、NPO法人こうべユースネットほか）順次情報を整理し、Web上にUPしていきます。また、これらの情報はガイドブックのデータとなります。

2月23日（土）には、キックオフ会議を行い、支援団体11、兵庫・大阪の行政など含め20名の参加をいただきました。趣旨に賛同いただき、ブログポータルへの参加や情報発信協力、生きたネットワーク作りへのご意見等も出て、今後の活動に期待が持てる会議となりました。

2008/02/26のBlog

関西子ども・若者サポーターズネット キックオフ会議開催

【1047】【白木の成産日記】

2月23日、清中のドームにて、宝塚NPOセンターで進めている「関西子ども・若者サポーターズネット」キックオフ会議を開催しました！

寒い中、年度末の忙しい時期ごまかしてくださった団体の方々、お休みな上でお手紙で来てくださった行政の方々、ありがとうございました！

行政・民間の枠を超えて、関西で暮らすリスクを抱える若者・子どもの応援機関・団体の紹介により、情報のセーフティネットを構築するのが目的の事業です

- ①ポータルサイトによる情報発信
- ②応援団体のガイドマップ発行・配布
- ③合同説明会

の3つを2009年までに実施する予定です

このネットワークに関心をお持ちの方は、宝塚NPOセンター白木までぜひご一報くださいませ

(2) 宝塚市 若者就労支援事業

宝塚のハローワーク「ワークサポート宝塚」の若者しごと相談広場事業と連携し、カウンセリングには来るがなかなか就労へつながりにくい若者たちのための、「職場体験実習」を含む「若者就労支援事業」を提案させていただき、2008年度に実施することとなりました。

予定プログラム セミナー 職場体験実習 相談

就労体験先には、宝塚市内のNPO、コミュニティ・ビジネス事業所にご協力いただく予定です。この事業を通じて人間関係や仕事に不安のある若者たちが自信を取り戻し、社会参加・就労へ進むお手伝いを進めていきます。



インキュベーション事業

インキュベーション事業は、阪神北NPOハウス、関西ええこと.mot、バスマップ(紙、Web、ブログ)に取り組んでいます。2007年度は、ブログでの情報発信が活発になり 企業広告掲載機能やサブ・ポータル生成機能を追加。バージョンアップ版として「関西ええこと.mot(<http://www.hnpo.comsapo.net/>)」と名称を変更しました。好評のバスマップも第2版を発行し、本格的に配布を開始しました。地域住民や新規転入者の便利な生活に貢献しています。

(1) 阪神北NPOハウス

全労済兵庫県本部、近畿労働金庫(地域共生推進センター)の地域社会貢献事業として開設された阪神北NPOハウスは、実質4年が経過しました。地域住民のみなさんとの交流の場であり、地域に密着した事業の起業を応援するインキュベーション施設(2008年3月末で8団体が入居)でもあります。1Fの交流スペースでは、ミニデイサービスや高齢者サロンが開かれていて、地域の自治会やまちづくり協議会の会議室としても利用されています。2007年度の交流スペース利用者数はのべ2,058名、地域に根ざしたNPOハウスとなっています。

2005~2007年度兵庫県阪神北県民局インキュベーションホール運営補助事業対象
2002~2004年度ひょうごボランティアプラザ行政NPO協働事業助成対象



(2) 関西ええこと.mot

株式会社NTTデータクリエイション、財団法人ニューメディア開発協会と進めてきたNPOの情報発信を目的とするブログ・ポータル・サイトも予定通り最終の開発を終えました。従来のポータル・サイトに加え、テーマやエリアごとのブログのサブ・ポータル・サイトを構築できるシステムを追加。団体の横の連携やアクセス数の増加につながっています。今年度は5つのサブ・ポータルを立ち上げ、さらに効果的な情報発信が始まりました。サブ・ポータルの生成は管理者の負担も少なく、汎用性・発展性が高いシステムとなっています。

また、今後企業からの寄付収入を見込んで広告バナー掲載機能も追加。NPOを応援する企業との協働促進に向けたシステムが整備されました。地域の企業を対象に関連・関心のあるポータル・サイトへの広告掲載営業を進めていきます。

バージョンアップに伴い、名称を「関西ええこと.mot」へ変更。今後導入地域をさらに拡大していきます。

(2008年3月現在ポータル・サイトアクセス数: 180,000件/月)

2005、2007年度ニューメディア開発協会「先進的情報技術活用モデルシステム開発事業(日本自転車振興会補助金事業)」対象



(3) Web版/紙版バスマップ・バスマップブログ

行政NPO協働事業助成(ひょうごボランティアプラザ)の3年目となるバスマッププロジェクト。兵庫県の交通関係会社のバス停情報を一枚にまとめた紙版の広域バスマップはこれまでに無く、使いやすさが大変好評です。第二版を発行し、追加・訂正に随時対応しながら正確な情報を伝えています。

ブログではバス停情報のみならず、周辺施設や観光情報も発信。バスマップ探検隊が公共交通を使いながらまちで遊ぶ記事を随時掲載。公共交通の利用促進とまちへの愛着が湧いてきます。ブログのアクセスは一日1500件以上。役立つ情報と楽しいサイトとして認知度も上がっています。また、公共交通サブ・ポータルも開設。交通情報や関連団体情報が集積され、さらなる利便性の向上を図ります。

バスマップブログ <http://www.hnpo.comsapo.net/busmap/>

Web版バスマップ <http://hnpo.net/n/busmap/>

阪神都市圏公共交通利用促進(バスマップ関連サブ・ポータル)

<http://www.hnpo.comsapo.net/portal/ptpr/portal.index>

2005~2007年度ひょうごボランティアプラザ行政NPO協働事業助成対象
平成18年度近畿運輸局阪神都市圏バス交通利用促進調査事業



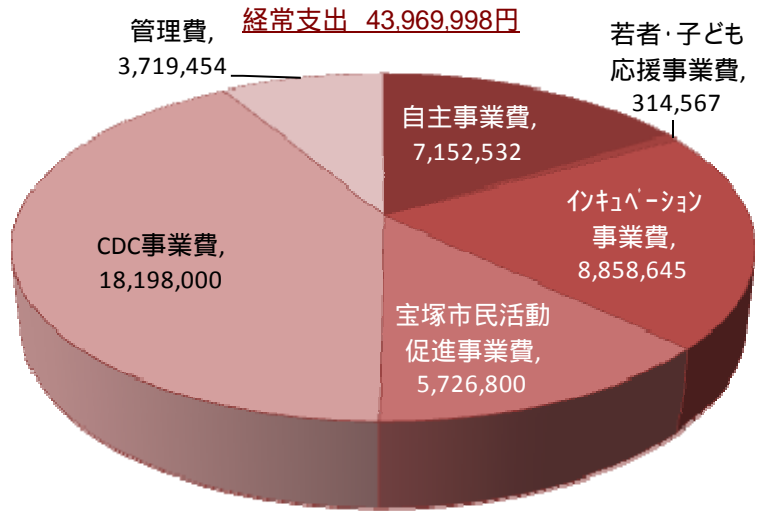
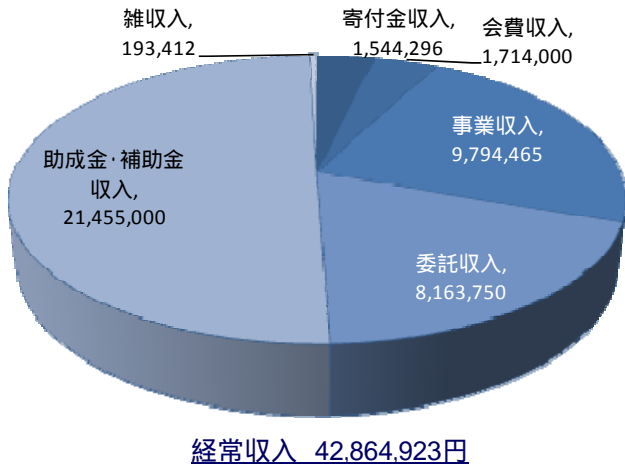
関西ええこと.motで情報発信中!!

関西ええこと

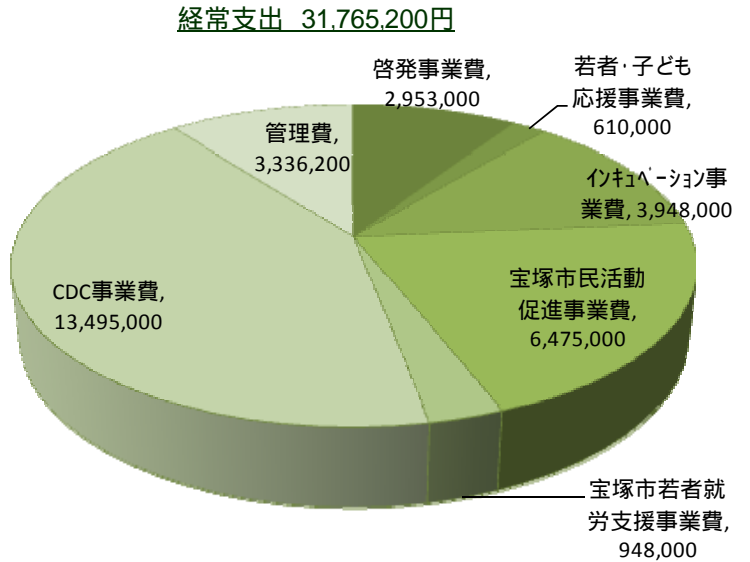
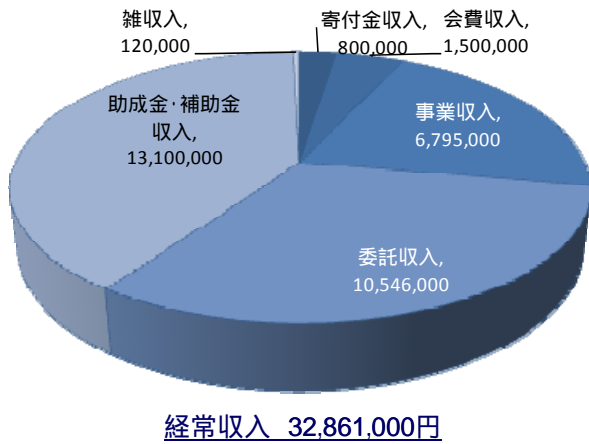
検索



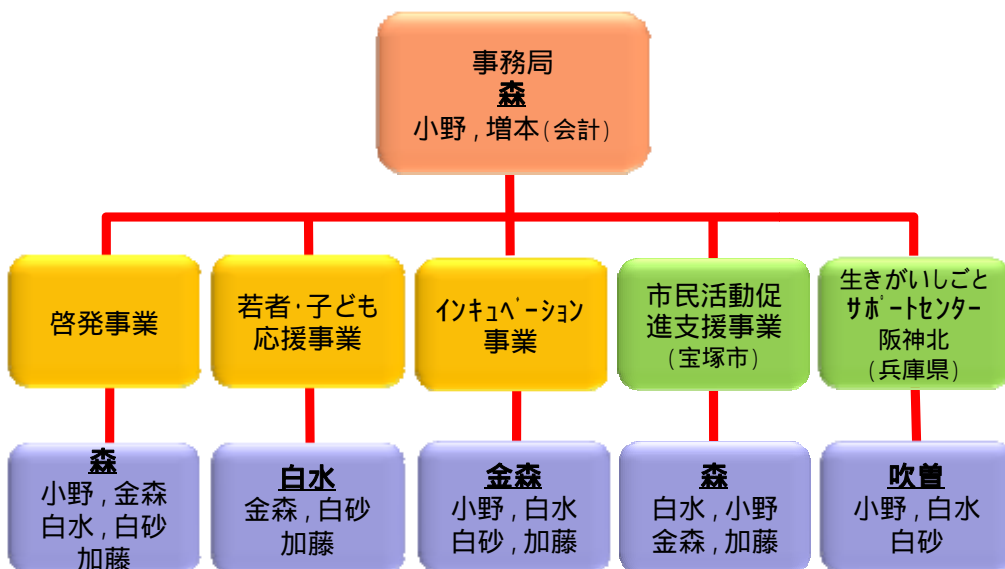
2007年度決算（経常収支）



2008年度予算（経常収支）



2008年度組織体制



役員

理事(理事長 副理事長)
 牧里毎治(関西学院大学社会学部教授)
 竹内 浩(社福・宝塚市社会福祉協議会名誉顧問)
 江守典子(阪神人形劇連絡協議会会長)
 小西孝彦(兵庫県社会教育委員)
 名取千里(株式会社ティーオーエー常務取締役)
 吹曾幸雄(生きがいごとSC阪神北マネージャー)
 遠座俊明(大阪ガス株式会社)
 金森 康(ソーシャル・デザイン・ファンド代表理事)
 鶴丸悌二(高齢者問題を考え行動する会代表)
 森 綾子(宝塚NPOセンター事務局長)

監事

福岡則博(弁護士)
 森田 義(公認会計士 税理士)

顧問

小笠原晓, 石堂恵眼, 菅一郎, 山林知左子,
 藤井義正, 浅野仁, 多胡進, 山本麗子, 寺本弘伸